



シャボン玉はストローのほかに、何かいい道具はあるの

ビニルやゴムホース、針金を丸くしたもの

シャボン玉だまをつくつくって遊ぶあそぶのは、たいへん楽しいことです。日本ではシャボン玉遊びだまあそびは、今いまから百年以上も昔むかしから、行おこなわれてきました。そのころは、ムクロジという木の実の皮かわをかわかして粉こなにし、それを水みずにとかして、シャボン玉だまの液えきにしていました。羽根はねつきの羽根はねの黒い玉くろたまが、ムクロジたねの種たねです。

シャボン玉だまを作つくるときには、よくストローつかを使つかって、作つくっていますが、いろいろの道具どうぐを使つかって、作つくることができます。

画用紙がようしを丸まるめて、メガホンみじかのようにしたり、短きく切きったビニルや、ゴムホースつかを使つかって作つくることができます。また、針金はりかねを丸まるめて、いろいろの大きさおおの針金はりかねの輪わを作つくり、輪わの所ところに毛糸けいとを巻まきます。すると、いろいろの大きさおおの、シャボン玉だまを作つくることができて、おおいに楽しめたのめます。

大きいシャボン玉を作るには、石けん液に砂糖などを入れる

シャボン玉だまの液えきは、おふるで使つかう石けんせっをけずり、少すこしずつ水みずにとかして、作つくったりしています。石けんせっが、多おおすぎても少すくなすぎても、シャボン玉だまは、うまくできないので、ちょうどよいいこさにします。

大きいシャボン玉だまを作つくるには、石けん液せっに砂糖えきか、お茶ちゃの葉はを入れて、ひと晩ひとばん置おいておきます。いろいろなものまを混まぜて、くふうしてみるといいでしょう。（監修・青木 国夫）

